

平成31年度山梨大学教育学部附属中学校外部評価書

令和2年2月14日（金）

平成31年度学校関係者評価委員会 作成

I 目標の達成状況に対する意見

- ・保護者アンケートの集計結果の中にやや低い評価項目があるが、実施時期と内容面の検証が必要であろう。

II 取り組み状況に対する意見

- ・公共交通機関利用に関するマナー指導として、集会等を利用した指導はもちろんであるが、実際に職員が現場に足を運んだ指導は効果的であったと思う。今後も、生徒の安心・安全のためにアクティブな生徒指導を試みてほしい。
- ・学年ごとに実施した情報モラル教室は、効果的であると思う。今後も学年の発達段階や実態に応じた取り組みを継続してほしい。
- ・オリンピック・パラリンピックイヤーである来年度は、ぜひオリンピックまたはパラリンピック関連の教育活動を取り入れてほしい。
- ・来年度から導入される「キャリア・パスポート」において、ぜひ合唱コンクール関連の内容を取り入れてほしい。附属中におけるこの取り組みは、生徒たちにとって特別な意味を持ち、生徒たちの心の成長に大きな影響を与えていると思う。
- ・道徳等で、現代社会の大きな問題の一つである「あおり運転」関連の内容についても取り上げることは重要ではないか。

III 評価方法に関する意見

- ・評価の観点を個人として（自）のものと全体を見て（全）に分けた試みは興味深い。全て全体的に振り返るよりも、さらに評価の精度は高まるに違いない。
- ・内容面において、昨年度の外部評価委員会での意見が活かされ、課題を重点化し、評価書の内容も精選され、より「わかりやすい」内容となっている。

IV その他

- ・公開授業等におけるPTA活動は、本校ならではの学校と保護者との貴重な連携事業の一つである。来年度6月実施の「日本生活科・総合学習教育学会の全国大会」では、学会が主催であるため、本校のPTAの協力は依頼しないとのことであるが、今後の中等教育研究会のことを考えるならば、来年度も授業公開時に何らかのPTA連携の場を設定することが大切であろう。
- ・来年度も、「不易と流行」を意識しながら、附属中ならではの良さを大切にしながら、より良い教育活動のために改善努力を継続してほしい。

記載責任者（附属中学校 学校関係者評価委員会） 山本 淳仁 ㊞